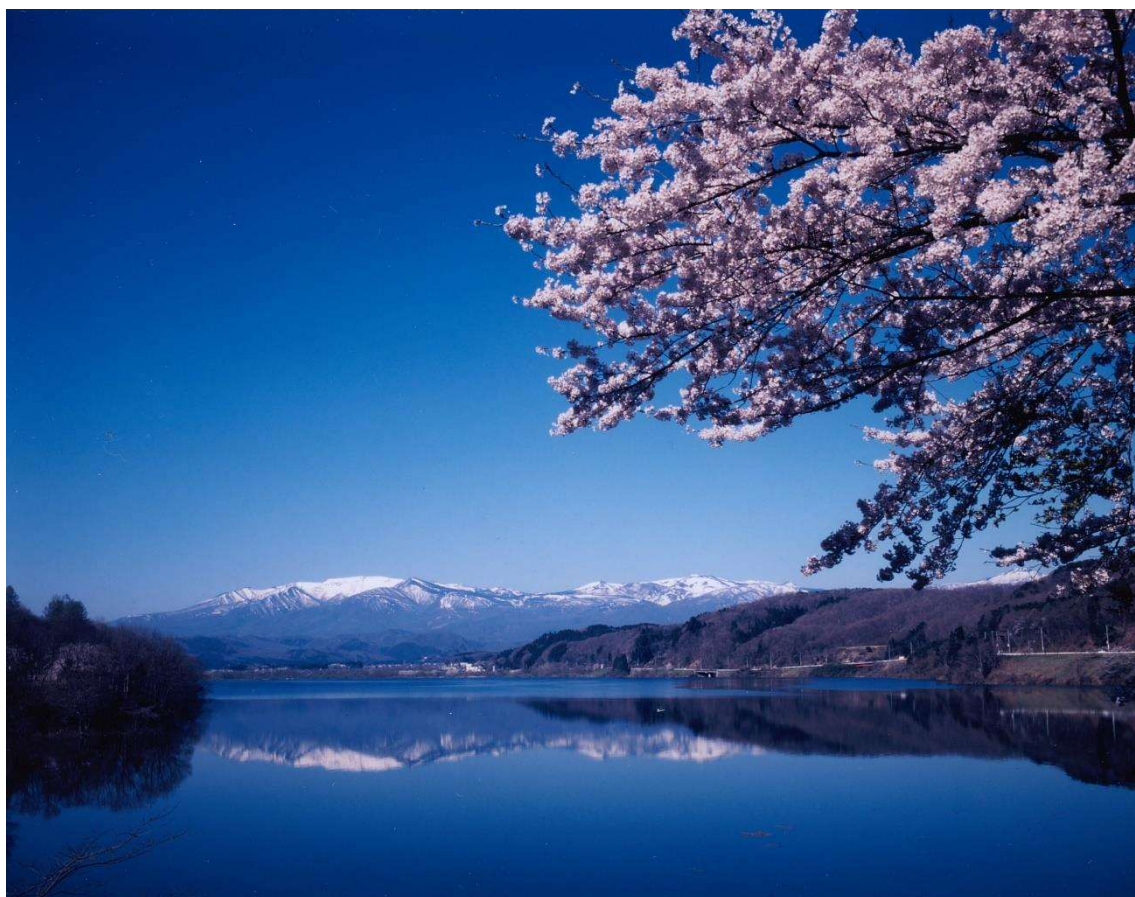


釜房ダム貯水池湖沼水質保全計画(第7期)



写真提供：宮城県観光プロモーション推進室

令和5年3月

宮 城 県

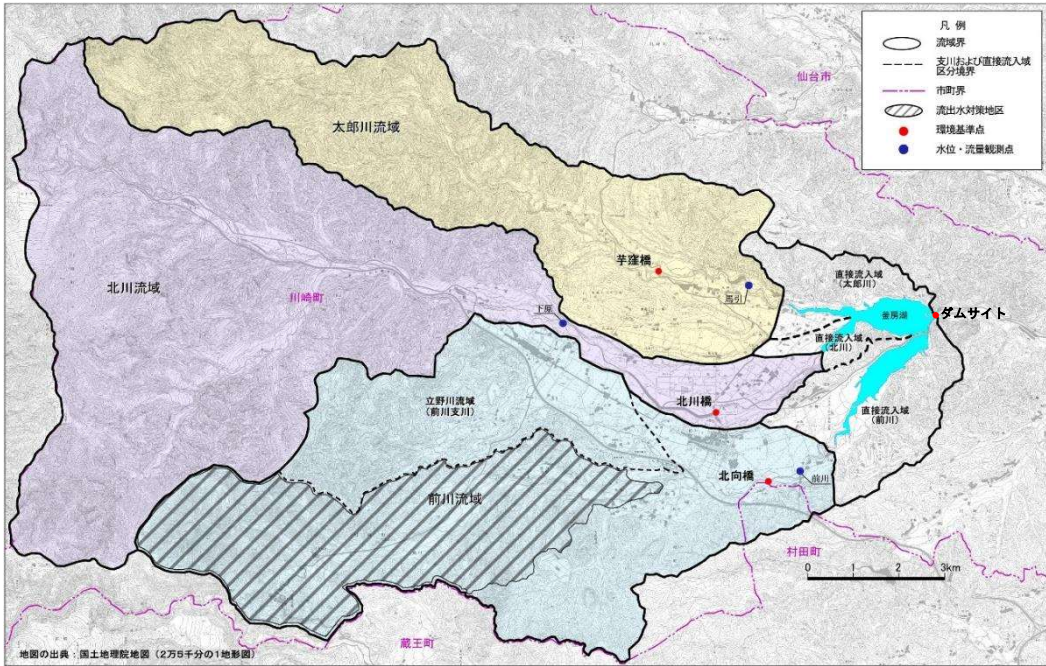
第1章 釜房ダム貯水池の水質保全対策の状況

1. 釜房ダム貯水池の概要

釜房ダム貯水池（以下「釜房ダム」という。）は、宮城県仙台市の西方約 25km、一級河川名取川の支流碓氷川に位置しています。釜房ダムへの流入河川としては、碓氷川（以下、釜房ダム下流部を除き通称の「太郎川」という。）、北川、前川の 3 河川があり、その流域の 82%は森林が占めています。

釜房ダムは昭和 45 年に完成した湛水面積 3.9km²、有効貯水容量 3,930 万 m³ の多目的ダムであり、その機能として、利水、洪水調節等の役割を果たしています。利水機能としては仙台市及び周辺市町村の水道用水のほか、かんがい用水、工業用水、発電用水として利用されています。また、釜房ダムは仙台市の水道水供給量の約 38%を占めていることから、仙台市の水がめと呼ばれています。

昭和 50 年、釜房ダムの周辺では全国でも初めて自然環境の保護や河川敷の整備といった周辺環境整備事業工事が着手されました。また、平成元年には、東北では初めての国営公園として「国営みちのく杜の湖畔公園」（以下「湖畔公園」という。）が第Ⅰ期供用を開始し、観光レクリエーション活動の拠点として、景観を楽しむ場や親水レクリエーション、キャンプなどを行う場として多くの人々に親しまれています。



対象区域

<釜房ダムの諸元>

◆型式	: 重力式コンクリートダム	◆流域面積	: 195.25km ²
◆ダムの高さ	: 45.5m	◆湛水面積	: 3.9km ²
◆ダムの長さ	: 177.0m	◆総貯水容量	: 45,300 千 m ³